



夏休みを利用した法学部短期留学制度

海外法文化研修

Go! Global!



こんなあなたにぴったり！

ぜひ参加を検討してください

- ☑ 有意義な夏休みにしたい
- ☑ 異文化体験してみたい
- ☑ 海外未経験だから、
- ☑ まずは短期間で行ってみたい
- ☑ 外国の法律や法制度に興味がある
- ☑ 長期留学の前に力試しをしたい



海外の法を学び、日本の法を学ぶ

2016年度にスタートした南山大学法学部の海外法文化研修制度は、夏季休暇を利用し、海外で生活をしながら、その国の文化や法を学ぶ法学部独自のプログラムです。事前学習を行う海外法文化研究Ⅰ（第2Q）、事後学習を行う海外法文化研究Ⅱ（第3Q）とあわせて受講することで、日本の法と他国の法を比較して検討する比較法研究の意義や対象国の法制度・法文化を学ぶことができます。また、現地では語学研修のプログラムに参加し、英語または韓国語を学びます。約1ヵ月間の海外での生活で、みなさんはいままで知らなかったような新しい世界への扉をひらくことができるでしょう。海外法文化研修、海外法文化研究Ⅰ及びⅡ受講後は、法学部開講科目として単位（合計6単位）が認定されます。



法を学ぶ魅力

—カナダの法・オーストラリアの法—

カナダやオーストラリアは、「英米法（common law）」と呼ばれる法体系に属します。大陸法に慣れ親しんだ私達から見ると、大陸法にはない発想で問題解決が図られていて、驚かされることもあります。その一方で、導き出された結論は日本法と変わらないこともあるのです。そうした相違がどのようにして生まれたのか。全く異なる法体系だからこそ、その比較が面白く感じるかもしれません。また、カナダやオーストラリアには、それぞれの国独自の歴史と文化が法制度にも深く結びついています。それぞれの法制度を知ることで、その国をより深く知ることに繋がります。



—韓国の法—

歴史的な経緯もあり、日本の法と韓国の法はもともとまるで双子の兄弟のようによく似ています。また、少子高齢化など共通する社会的課題にも直面しています。でも、社会の仕組みや社会経済状況の違い、文化や国民性の違い等を反映し、まったくそっくりというわけでもありません。どういう違いがあるのか？そういった違いが生じたのはなぜか？韓国はどのような選択をするのか？そうしたなかで日本の法はどのような方向を目指すべきか？日本と似ていてちょっと違うからこそ、次々にわくわくするような疑問がわいてきます。そこがとても魅力的です。



研修先紹介 オーストラリア マッコリー大学

4週間プログラム

オーストラリア・ニューサウスウェールズ州のシドニー郊外にある公立の総合大学です。学生数は約40,000人以上でロースクール他、多様な学部があります。1964年に開設された比較的新しい大学ですが、オーストラリア国内でもトップレベルの実績を誇る大学として知られています。



オーストラリアでは、世界遺産である植民地時代の刑務所跡などを見学する機会も設定されます。連邦制を採用するオーストラリアは、日本と国家の仕組みそのものが異なるので、新しい発見がたくさんあります。



●スケジュール●

12～1月	2～3月	6～7月	8月	9～11月
参加者募集	参加者決定	事前授業 (海外法文化研究A) その他 4月の履合わせ等	研修実施 (海外法文化研修A)	事前授業 (海外法文化研究A) 最終的に報告会開催、その後レポート集を制作します。



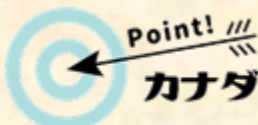
よ く あ る 質 問

Q1. 英語に自信がありませんが、参加できますか？

A1. もちろん、参加可能です。むしろ、英語に自信がある人が参加されることの方が珍しいかもしれません。研修期間中の平日は、語学研修となります。最初にプレテストを受講して頂き、皆さんのレベルにあった少人数クラスに分かれて、英語の授業を受けてもらいます。現地の先生方はとても丁寧に教えてくださいますよ。

Q2. はじめての海外生活で不安です。どのようなサポートがありますか？

A2. 今まで、海外に行くのが初めてだという学生さんがたくさん参加して下さいます。ご協力頂いている旅行会社提供のサポートサービスに加入することにより、基本的に現地からでも24時間365日、相談に乗ってくれます。2023年度の例ですと、「体調が悪いのだけれど、Homestay先から最寄りの病院（ドラッグストア）はどこか？」といった問いかけにも丁寧に答えてくれたようです。



カナダ研修、ここが推し!

カナダコース一番の推しは、現役の裁判官が裁判所内を案内してくれる裁判所見学が開催されることです。これは、バック旅行などでは経験できない貴重な機会となるでしょう。そのほかにも、週末には、Banff国立公園への旅行やオプションツアーも用意されていて、カルガリー大学キャンパス内では体験できないようなカナダの雄大な大自然を満喫できます。でも実は、日本の蒸し暑い夏から解放されて、涼しいカナダでひと夏過ごせることも「推し」なのかもしれません。



韓国研修、ここが推し!

韓国コースの中心は語学研修と韓国文化体験です。語学研修ではまったく韓国語を学んだことがない未修者向けのクラスも用意されています。韓国語を学ぶとても良い機会となるでしょう。また韓国文化体験では、プサンやソウルへの小旅行、韓屋での宿泊、韓服を着て散歩、韓国の伝統文化工芸体験、K-Popダンス体験など多彩な内容が用意されています（プログラムの詳細は毎年変わります）。



研修先紹介 カナダ カルガリー大学

4週間プログラム

カナダ中西部・アルバータ州の大学です。在籍学生総数は30,000人以上で、60以上の学部30を超える研究所を持つ、カナダトップクラスの総合大学です。カルガリー大学には附属の英語教育機関があり、40年以上にわたる留学生を対象とした英語指導の実績を有しています。経験豊富な教師陣が、皆様の指導を担当します。



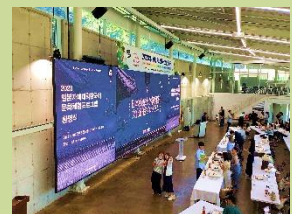
●スケジュール●

12~1月	2~3月	6~7月	8月	9~11月
参加者募集	参加者決定	事前授業 (海外法文化研究AI) その他 4月の顔合わせ等	研修実施 (海外法文化研修A)	事前授業 (海外法文化研究AII) 最終的に報告会開催 その後レポート集を制作します。

研修先紹介 大韓民国 韓南大学

3週間プログラム

韓南大学は、韓国中部の中心都市、大田広域市に位置し、広大なキャンパスは美しい緑に囲まれています。学部に対応するのが10組織、学生数は16,000人ほどで、南山大学より少し大きいプロテスタント系ミッションスクールです。韓南大学と南山大学は2000年から交流を始め、現在では、全学レベルでの交換留学、韓南大で毎年実施される総合政策学部の南山アジアプログラム（韓国）、さらには法学部生が毎年20名ほど参加して開催される学術交流会（両大学で隔年開催）等が行われ、相互に信頼の厚い関係にあります。



●スケジュール●

12~1月	2~3月	6~7月	8月	9~11月
参加者募集	参加者決定	事前授業 (海外法文化研究B) その他 4月の顔合わせ等	研修実施 (海外法文化研修B) 総合政策学部の NAP参加者と 合同実施します。	事前授業 (海外法文化研究BII) 最終的に報告会開催 その後レポート集を制作します。

Q3. 韓国に興味がありますが、韓国語の勉強はしたことがありません…。

A3. 韓国コースでは韓国語未修者向けのクラスも用意されています。プレイメントテスト試験でのクラス分け後、語学力に相応したレベルで学ぶことができます。

Q4. 費用はいくらぐらいかかりますか。その費用には何が含まれますか？

A4. 【カナダコース】費用は65万円～です（航空券の値段や費用で変動します）。含まれるものとしては、往復の航空券、英語授業料、ホームステイ代（1日2食付）、Banff1日旅行、裁判所見学、英語レクチャーです。オプションツアー（毎年内容は異なります）に参加したい人は、別途料金を支払うことで参加可能です。オプションツアーの過去の例は、ジャスパー国立公園への1泊旅行などがありました。【韓国コース】参加費（20万円強）と航空券にかかる費用が必要です。（合計30万円程度/人。2023年度実績）。参加費には、韓国語講座費、韓国文化体験費、昼食代（授業日）、学生寮利用費や小旅行費の宿泊費などが含まれます。

参加者体験談

<タイトル>

奥田 梨央さん (2023年度カナダ研修参加)

大学生のうちに視野を広げたいと思い、参加しました。本研修には、裁判所見学や司法修習生の方との座談会のプログラムも組まれていたので、日本とカナダの法制度の違いを考え、より多角的に法律を見られるようになり、また事前学習で決めたテーマに沿って、多文化共生が進むカナダで、法学以外の分野の知識や考えを深めることもでき、貴重な経験を積むことができました。そして、ホームステイでは、ホストファミリーと良好な関係を築いていける程度に英語力を上げることもできました。

本研修により、異文化適応力も身に付き、より行動力を持てるようになりました。充実した楽しい1ヶ月を過ごしたいという方は是非参加してみてください。



<タイトル>

中村 颯汰さん (2023年度カナダ研修参加)

何か新しいことにチャレンジしたいと思い、参加しました。ホームステイ先には、ケベック州出身のルームメイトがいて、毎日一緒に現地の大学に通学したり、英語でお互いの文化を説明し合ったりしました。

今でも毎日連絡をとっているほど仲良くなりました。裁判所見学では、カナダ特有の多民族性を考慮した

裁判所制度があることを学び、日本の裁判所との違いに驚きました。この研修を通して英語の環境に身を置くことによって、英語を話すことに抵抗がなくなり、チャレンジすることが一番大事だということに改めて感じることができました。初めての海外だったので最初は不安でいっぱいでしたが、終わってみると最高の一ヶ月でした。



新しい発見の日々

井村 光さん (2023年度韓国研修参加)

私は第二言語で韓国語を履修しており、それを活かしながら法文化について学べるというところに魅力を感じ、研修に参加しました。ハンナム大学で韓国の文化や語学の勉強をしながら、ときにはフィールド・トリップで韓国の名所を観光しました。

自由時間にはハンナム大学の学生さんとお飯を食べに行ったり、遊びに出かけたりして実際の韓国社会に触れることができました。この研修では、普段経験できないような貴重な体験をすることや自身の知見を広げることができます。私自身この研修をきっかけに海外に対する興味がより強くなりました。



初めての海外、初めての韓国語

山田 羽瑚さん (2023年度韓国研修参加)

海外渡航経験がなかったため、学内のプログラムを活用して安全に渡航したいと思い参加しました。私は韓国語が未習に近い状態でしたが、周囲のメンバーのサポートもあり、注文や買い物を韓国語で行えるようになりました。

約三週間という短い期間ではありましたが、語学の勉強からあらゆる主要都市での文化体験にわたるまで、幅広い内容のプログラムが組まれていたため、非常に充実した時間を過ごすことができました。韓国ならではの食や音楽も肌で感じる事ができるので、韓国好きな方はぜひ参加してみてください。



MEMO

●2025年度夏に向けた募集スケジュール●
2024年11月末～12月初旬 説明会開催
12月～翌1月 参加者募集

★長期留学を希望する場合は、下記大学Webページを参照
南山大学ホーム>留学・国際交流>南山大学から海外へ

<問い合わせ先>

南山大学法学部事務室 (A棟1階) [TEL: 052-832-8011](tel:052-832-8011) E-mail: n-lawyer@nanzan-u.ac.jp

